

Sサカエ CSパールワゴン天板付

組立・取扱説明書

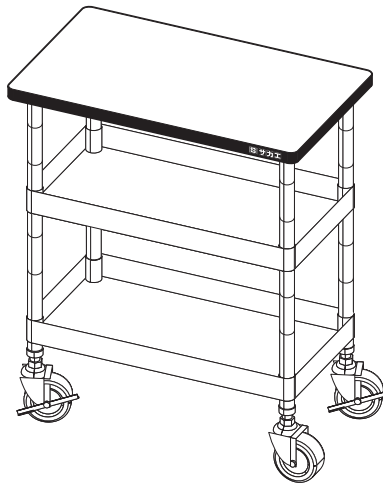
このたびは、CSパールワゴン天板付をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は、天板面で軽作業が行えます。さらに、棚板は両面共使用できます。工場倉庫・店舗で、末長くご使用いただけます。

●1台あたりの最大荷重

	仕 様	均等耐荷重
CSパールワゴン抗ウイルス天板付		150kg ※
CSパールワゴン天板付		
CSパールワゴン引出し天板付タイプ	引き出し 2 段まで	130kg
	引き出し 3 段以上	120kg

※棚板1段仕様は
均等耐荷重100kg
(H620)

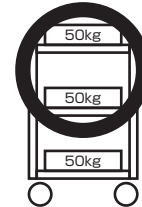
	均等耐荷重	安全荷重
引出し	25kg/段	5kg



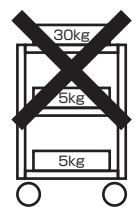
〔ご使用前に必ずお読み下さい〕

■均等耐荷重（等分布耐荷重）

下記イラストは均等耐荷重が1台あたり150kgの場合
(お買い上げの商品によって耐荷重、棚板の枚数が異なります
ますのでご注意ください)



ツールワゴン1台あたりの均等耐荷重を
棚板の枚数で割った重量を上限に
各段均等にお載せ下さい。
例) 均等耐荷重150kgのワゴン
棚板3段仕様の場合は
均等耐荷重150kg÷3枚=50kg
1段あたり50kgを上限に
各段へ均等にお載せ下さい



均等耐荷重内であつてもかたよった積載をしますと転倒の恐れがありますのでおやめください。

積載荷重は、製品の耐荷重の範囲内にして下さい。それ以上載せたり、荷重が片寄りますと製品破損の恐れがあります。

※「均等の耐荷重」とは、棚板の表面、または引出しの中に均一に荷重をかけた場合に、耐えられる重さの合計量をいいます。安全荷重について…無負荷の状態で引出し等可動部を1段最大に引き出し、その前端に集中荷重を掛けた際、転倒をしない重さの合計をあらわします。(通常は均等に荷重をおかけください。)

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や、他の人への危険や財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただく内容を次の要領で説明しています。

⚠ 警告

誤った使いかたをすると「死亡または重症などを負う可能性が想定される」内容を説明しています。

■耐荷重以上の荷物を置かない。

ワゴンが傾いたり、棚板が曲がったりして危険です。

■足をかけたり、よじのぼったりしない。

転倒したり、棚板が破損したり、足を滑らせて、けがをするおそれがあります。

■不安定な場所に置かない。

ワゴンが倒れたり、荷物が落下して、けがをするおそれがあります。

⚠ 注意

誤った使いかたをすると「損傷または財産への損害が発生する可能性が想定される」内容を説明しています。

■運搬車として使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■引出しの開閉は、ゆっくり静かに行う。

指などをはさみ、けがをするおそれがあります。

■引出し・スライド棚はゆっくりと引いて下さい。

強く引きますとストッパー破損の原因となり、抜け落ちる恐れがあります。また転倒の恐れもありますので絶対におやめ下さい。

■引出しを引出したままにしない。

バランスを失って転倒し、けがをするおそれがあります。

■屋外や水のかかる場所で使用しない。また、ぬれたものを置かない。

ワゴンが腐食し、倒壊するおそれがあります。商品がぬれた場合は必ず乾いたやわらかい布で拭きとってください。

■壊れやすい物、危険物、薬品等は収納しない。

破損してけがをしたり、健康を害するおそれがあります。

■傾斜地では使用しない。

ワゴンが暴走して転倒したり、人や物に当たり、けがや破損するおそれがあります。

■スライド棚・引出しに物を載せたまま2つ以上引き出さないで下さい。またスライド棚・引出しの上に物を載せて引き出さないで下さい。バランスを失って、ワゴンが転倒する恐れがあります。安全荷重を設けていますが、安全に関わらず使用時は必ず均等に荷重をおかけ下さい。

■引出しには耐荷重以上収納しない。

引出した時に、破損するおそれがあります。

■移動時は、ワゴンが傾かないよう、ゆっくり運ぶ。

引出しが飛び出したり、荷物が落ちたりして、けがをするおそれがあります。

■高温になった物を乗せたり、火気の近くに置かない。

やけど、火災の原因になったり、変色、変形の原因になります。

■取付けビスがゆるんだり、外れたままで使用しない。

収納物の落下などにより、けがをするおそれがあります。

■子供の手の触れる場所に置かない。また、子供を近づけない。

ワゴンに触れて倒れたりして、けがをするおそれがあります。また、連結部・内部の切断面、および収納物によって、指をけがするおそれがあります。

■かたよった収納はしない。

バランスを失って、ワゴンが転倒するおそれがあります。

■床面ジュータン、悪路、段差の有る所では使用しない下さい。

つまづき、キャスターの破損、転倒の恐れがあります。

■天板や棚板のつぎ目やウラ側、隙間に指を入れない。

切断面や取付けビスの先端などで、けがをするおそれがあります。

■天板の下から力を加えない。

天板を持ってワゴンを持ち上げたり、天板の下から力を加えると樹脂部分が破損する恐れがあります。

■改造や無理な修理、分解はしない。

取付ミスなどにより、ワゴンが不安定になり危険です。特別なご使用をされる場合は購入店へご相談下さい。

■変形・破損したまま使用しない。

転倒・落下により、けがをするおそれがあります。

■キャスターは床面が汚れたり、跡形が残る場合があります。

■消耗品には寿命があります。

キャスター部や可動部等に異常音等(損耗現象)が発生した場合、購入店へご相談下さい。

■直射日光の当たる所や温度・湿度の著しい所での使用は避けて下さい。

変色や変形の原因となります。

■消耗品の交換、キャビネットの鍵等を紛失された場合は購入先を通じて御注文下さい。

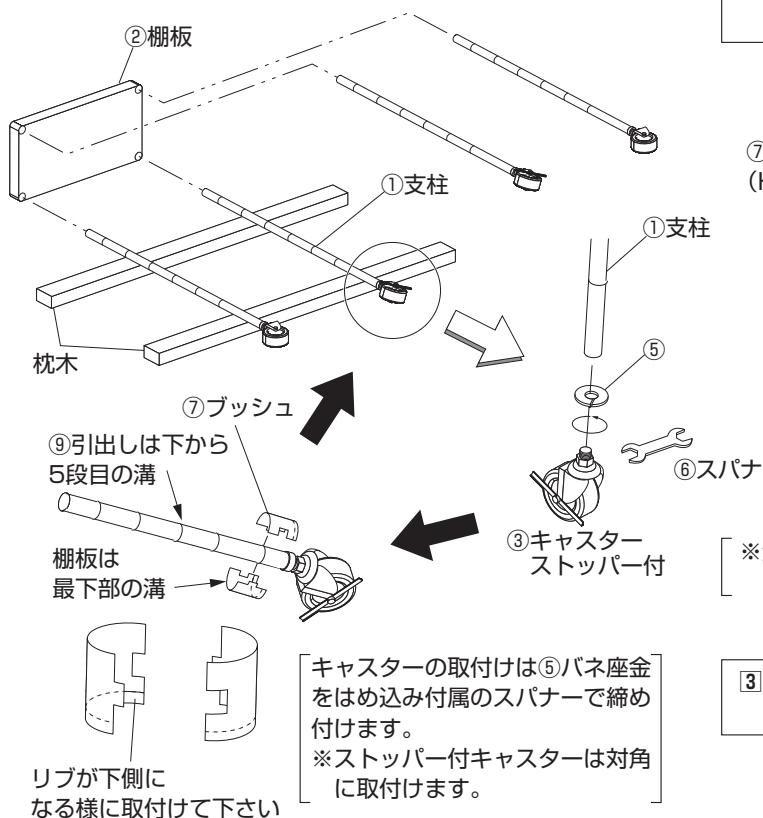
部 品 明 細

番 号	品 名	CSパールワゴン 天板付 (H620)	CSパールワゴン 天板付 (H760, 900)	CSパールワゴン引出し付 天板付
①	支柱	4	4	4
②	棚板	1	2	2
③	キャスター(ストッパー付)	2	2	2
④	キャスター(ストッパー無)	2	2	2
⑤	パネ座金	4	4	4
⑥	スパナ(キャスター取付用)	1	1	1
⑦	ブッシュ(樹脂)	4組	8組	12組
⑧	天板	1	1	1
⑨	引出し	—	—	1
⑩	センターカバー	4	8	8

※組立てる前に、棚板の向き(□ or □)および中棚の位置はあらかじめ決めておいて下さい。

※棚板等を叩き込む際は、そえ木か布などをあてて下さい。

- ① 枕木の上に、支柱を2本並べます。
キャスター又はアジャスターを取付けます。
支柱最下部の溝にブッシュを取付けて棚板にはめ込みます。



組み立てるまえに

梱包内容がすべて揃っているか、ご確認ください。

※万一不足の部品があった場合は、すぐに購入先へお知らせください。

枕木を2本ご用意ください。組み立てが容易になり、製品や床への傷つきを軽減します。

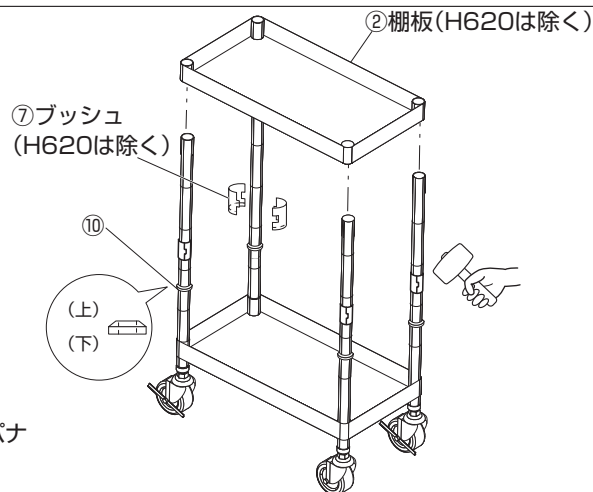
※組み立て時は、必ず軍手等の保護具を着用してください。

組み立てかた

■ひずみなく製品を組み立てるために

- 組み立て時は、棚板を軽くたたき込んでおきます。
- 完成後水平な場所に製品を立て、ひずみの矯正をしてから、棚板をしっかりとたたき込みます。

- ② ⑩センターカバーを(上・下)向きを確認してから支柱にはめ込み落とし込んで下さい。
ワゴンを起こし樹脂ハンマー又は木槌で軽くたたき込みます。
他の棚板も同様に支柱の溝にブッシュを取付け棚板をはめ込みます。



※全ての棚板を取付けた後、樹脂ハンマー又は木槌でしっかりとたたき込んで下さい。

- ③ 支柱に天板のジョイント部分を差し込み、しっかりと叩き込んで下さい。



天板組み立て時の注意点

- ・天板は取外し不可ですのでセットする際は注意して下さい。
- ・組み立て後、棚板を反転したい時はキャスターを外し、下から棚板をセットし直して下さい。